

23年産米の入荷と仕込みに際して

弊社「三州三河みりん」、「有機三州味噌」をご愛用頂きましてありがとうございます。

今年3月の東日本大震災から8ヶ月が経過し、復興の姿が描かれるようになってきました。一方、大震災に続いた福島原発事故による放射能汚染の広がりには多方面に渡り、その影響は図りきれないでいます。特に食の安全を脅かし、将来に向けて如何に安心を確保できるかが模索されています。

弊社では、夏の暑さが遠去かり、米の収穫が始まり、菊の花が咲きそろう頃に秋仕込みを開始します。今秋収穫された新米第一陣が10月12日に到着し、今後も順次入荷を予定しています。

弊社「三州三河みりん」の原材料は、ラベル表示の通り、もち米は佐賀県、北海道の指定産地の減農薬栽培、米こうじは地元愛知のうるち米、原料焼酎は、自社港本町蔵で造られた米焼酎です。焼酎原料の米は、山形県の日本海側庄内産のうるち米を使っています。今年の秋仕込み、来年の春仕込みに使うみりん原料用焼酎は、昨シーズンまでに造られ、準備されたものを使います。「有機三州味噌」の原材料は、山形・宮城県産の有機もち米、有機うるち米を使っています。原料有機焼酎は、22年産米で醸造・貯蔵されているものを使います。

放射能汚染が懸念される山形県・宮城県の平成23年産米につきましては、8月下旬に生産者の方々が5ヶ所の田圃から稲を一株ずつ刈り取り、膨らみつつある稲穂と稲藁を検査機関に送り、自主検査の結果、いずれの検体も「検出せず」となりました。国が8月3日に示した方針に沿って県が行った「米の放射性物質調査結果（予備調査）」においても「不検出」となり、収穫作業が始められました。収穫後、選別・袋詰めを終えて、弊社に出荷準備が整った時点で再度、生産者、品種ごとにサンプリングして出荷前の玄米放射性物質検査が行われました。

その測定報告が「検出せず」であった旨の報告を受けて、弊社精米工場に搬入し、弊社にて荷姿、表示事項等の受け入れチェックの後、品種、生産者毎に検体を採取し、検査分析機関に玄米放射性物質検査を依頼しました。11月7日、「放射能測定報告書」によりすべての項目に「検出せず」という検査結果を得ました。

以上、産地側での各種の安全検査確認、入荷後の玄米「放射能測定報告書」により、弊社精米工場に入荷している山形県・宮城県の平成23年産米は、放射能測定値がいずれも「検出せず」で弊社製品原料に適合するものと判断します。安全性の確保には、今後とも産地生産者の皆様と連携しながら、世界に通用する有機の基準（JONA-IFORM）をクリアした「おいしい有機みりん」を造り、安心をお届けしてまいります。

現在、皆様にお届けしている製品は、8月の「原料産地の表示と今後の対応」でお知らせしましたように、平成22年以前に収穫されたお米で仕込み、貯蔵・熟成されたものを順次びん詰め出荷をしております。本年収穫されたお米で仕込んだ製品をびん詰め出荷するのは、平成26年春以降を予定しています。

弊店は、原材料を厳選し、伝統的な醸造法によるみりん造りに徹して、おいしさと安全・安心をお届けしてまいります。そして大震災の影響を受け、復興に向けて頑張っている東北の皆様にも、微力ではありますが精一杯の応援をさせていただきます。

参考資料 (1) 放射能測定報告書 日本海事検定協会食品衛生分析センター (横浜)

平成 23 年 8 月 25 日 報告書 No. S J 6 4 2. 1 / 1 1 他 4 件

検体品名 水稻 (茎・葉)

検査項目：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137

測定値：いずれも検出せず (検出限界 1 0 Bq / k g)

(2) 米の放射性物質調査結果 (予備調査) 山形県広域支援対策本部

米の放射性物質調査結果 (本調査) 山形県広域支援対策本部

米の放射性物質調査結果 (本調査) 宮城県農林水産部農産園芸環境課

検体品名 平成 23 年産米 (玄米)

検査項目：セシウム 134、セシウム 137

測定値：いずれも不検出 (検出限界 2 0 B q / k g)

(3) 放射能測定報告書 日本海事検定協会食品衛生分析センター (横浜)

平成 23 年 9 月 30 日 報告書 No. S J 8 8 3 / 1 1 他 5 件

検体品名 水稻 (玄米)

検査項目：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137

測定値：いずれも検出せず (検出限界 1 0 B q / k g)

(4) 放射能測定報告書 日本海事検定協会食品衛生分析センター (横浜)

平成 23 年 11 月 7 日 報告書 No. S J 1 1 5 4. 1 / 1 1 他 5 件

検体品名 もち玄米 3 点 うるち玄米 3 点

検査項目：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137

測定値：いずれも検出せず (検出限界 1 0 B q / k g)

【参考】国の基準 食品 5 0 0 B q 飲料 2 0 0 B q

平成 23 年 11 月

三州三河みりん醸造元 株式会社角谷文治郎商店

代表取締役 角谷 利夫

TEL : 0566-41-0748 FAX : 0566-42-3931

E-mail : sumiya@mikawamirin.com

※この件に関するお問い合わせは、ご所属・ご住所・お電話番号・お名前を明記の上、メール・FAX でお願致します。



本部
東京都中央区八丁堀1丁目9番7号
電話 大代表 東京(03)3552-1257
フアクシミリ 東京(03)3552-4673
ホームページ http://www.nikke.or.jp/

食品衛生分析センター
横浜市金沢区福浦 2-7-31
電話 横浜 045-781-6665
FAX 横浜 045-781-9962

横浜
平成23年11月7日
報告書 No.S11154.1/11



(Ref. TK)

放射能測定報告書

当協会検査員は、株式会社角谷文治郎商店殿より提出された、下記物品について放射能濃度を測定し、当該測定結果に基づき本報告書を作成した。

1. 委嘱者： 株式会社角谷文治郎商店
2. 品名： もち米
3. 物品の状態： ポリ袋入り
4. 測定場所： 日本海事検定協会食品衛生分析センター
5. 測定日時： 平成23年11月2日
6. 付記事項： 受領量：3.0kg
委嘱者申告により下記事項を記す。
もち米 (11.池.MO.4103)

7. 測定結果：

- 7.1 使用測定機器： セイコー・イージーアンドジー株式会社製
ゲルマニウム半導体検出器 GEM25-70
- 7.2 測定結果：

核種	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs
測定値 (Bq/kg)	検出せず	検出せず	検出せず
検出限界 (Bq/kg)	10	10	10

8. 測定方法

食安発 0317 第3号 平成23年3月17日 厚生労働省医薬食品局食品安全部長「放射能汚染された食品の取り扱いについて」平成14年5月9日事務連絡「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」
第2章 2.ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリによる核種分析法

以上、報告する。

[食品衛生分析センター 第2336号]

一般社団法人 日本海事検定協会
食品衛生分析センター

センター長 熊崎弘



本証明書についてのお問い合わせは：045-781-9971